

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)

【公表番号】特表 2006-507231 (P2006-507231A)

【公表日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報 2006-009

【出願番号】特願 2004-521793 (P2004-521793)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

T 細胞または T 細胞集団においてインターフェロン (I F N) レベルを阻害するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、以下：

該 T 細胞または細胞集団中において I F N を阻害するのに十分な量の I L - 2 1 アゴニストを含有し、ここで、該アゴニストは、配列番号 2 と少なくとも 8 5 % であるアミノ酸を含む I L - 2 1 ポリペプチドであり、そして該アゴニストは、I L - 2 1 R に結合し得る、組成物。

【請求項 2】

T h 前駆 (T h p) 細胞または細胞集団の、T h 2 細胞または細胞集団への分化を促進するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、以下：

該T h p 細胞または細胞集団のT h 2 細胞または細胞集団への分化を誘導するのに十分な量のI L - 2 1 アゴニストを含有し、ここで、該アゴニストは、配列番号 2 と少なくとも 8 5 % であるアミノ酸を含むI L - 2 1 ポリペプチドであり、そして該アゴニストは、I L - 2 1 R に結合し得る、

薬学的組成物。

【請求項 3】

T h p 細胞または細胞集団の、T h 1 細胞または細胞集団への分化を阻害するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、以下：

該T h p 細胞または細胞集団のT h 1 細胞または細胞集団への分化を阻害するのに十分な量のI L - 2 1 アゴニストを含有し、ここで、該アゴニストは、配列番号 2 と少なくとも 8 5 % であるアミノ酸を含むI L - 2 1 ポリペプチドであり、そして該アゴニストは、I L - 2 1 R に結合し得る、

薬学的組成物。

【請求項 4】

請求項 1、2、または3のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記ポリペプチドは、配列番号 2 のアミノ酸配列を含む、薬学的組成物。

【請求項 5】

請求項 1、2、または3のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物であって、ここで、該薬学的組成物が、エキソピボ、インピトロ、またはインピボでの投与に適している、薬学的組成物。

【請求項 6】

請求項 1、2、または3のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記接触工程が、哺乳動物被験体において行われる、薬学的組成物。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記哺乳動物被験体がヒトである、薬学的組成物。

【請求項 8】

T h 前駆 (T h p) 細胞または細胞集団の、T h 2 細胞または細胞集団への分化を阻害するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、以下：

該T h p 細胞または細胞集団のT h 2 細胞集団への分化を阻害するのに十分な量のインターロイキン - 2 1 (I L - 2 1) / I L - 2 1 レセプター (I L - 2 1 R) のアンタゴニストを含有し、ここで、該アンタゴニストは、抗 - I L 2 1 R 抗体、抗 - I L 2 1 R 抗体の抗原結合フラグメント、および I L - 2 1 R の可溶性フラグメントからなる群から選択される、

薬学的組成物。

【請求項 9】

T 細胞または細胞集団においてインターフェロン (I F N) レベルを増加するための薬学的組成物であって、以下：

該T 細胞または細胞集団のI F N レベルを増加するのに十分な量のI L - 2 1 / I L - 2 1 R アンタゴニストを含有し、ここで、該アンタゴニストは、抗 - I L 2 1 R 抗体、抗 - I L 2 1 R 抗体の抗原結合フラグメント、および I L - 2 1 R の可溶性フラグメントからなる群から選択される、

薬学的組成物。

【請求項 10】

請求項 8 または 9 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記 I L - 2 1 R の可溶性フラグメントが、I L - 2 1 レセプターの細胞外領域を含む、薬学的組成物。

【請求項 11】

請求項 1 0 に記載の薬学的組成物であって、前記可溶性フラグメントが、配列番号 4 のアミノ酸 2 0 ~ 2 3 5 と少なくとも 8 5 % 同一であるアミノ酸配列を含み、そして、I L - 2 1 に結合し得る、薬学的組成物。

【請求項 1 2】

請求項 1 0 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記可溶性フラグメントが、配列番号 4 のアミノ酸 1 ~ 2 3 5 を含む、薬学的組成物。

【請求項 1 3】

請求項 1 0 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記可溶性フラグメントが、さらに F c フラグメントを含む、薬学的組成物。

【請求項 1 4】

請求項 8 または 9 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記アンタゴニストが、抗 - I L 2 1 R 抗体またはその抗原結合フラグメントである、薬学的組成物。

【請求項 1 5】

請求項 8 または 9 に記載の薬学的組成物であって、ここで、該薬学的組成物が、エキソピボ、インピトロ、またはインピボでの投与に適している、薬学的組成物。

【請求項 1 6】

請求項 8 または 9 に記載の薬学的組成物であって、ここで、該薬学的組成物が、哺乳動物被験体への投与に適している、薬学的組成物。

【請求項 1 7】

請求項 1 6 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記哺乳動物被験体がヒトである、薬学的組成物。